

NEWS &  
TOPICS

p5

トップ  
インタビュー

p1

特集：  
セメダインの  
技術

p6

決算  
ハイライト

p7

株主様  
ひろば

p9



決議ご通知  
他

p10

裏表紙

キーワード  
で知る  
セメダイン



# CEMEDINE REPORT

第88期 事業報告書  
2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

# トップインタビュー

コロナ禍・原油高など厳しい環境の中で、  
2期連続で過去最高益を記録。  
環境配慮型製品の提案や  
グローバル市場での展開を加速し  
社会課題の解決に貢献します。



代表取締役社長  
天知 秀介

## 📌 当期の事業環境について

厳しい社会経済情勢が続く中で  
感染防止と原材料確保に注力

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行はいまだ終息せず、引き続き人々の社会生活や経済活動に多大な影響を与えています。一部の国や地域では「アフターコロナ」を見据えて、行動制限の解除や経済活動の活性化を模索する動きが見られましたが、国内では感染の再拡大を繰り返すなど予断を許さない状況が続きました。

こうした中、当社では社員・関係者の感染予防努力により幸いにもクラスター感染などは発生せず、工場の操業停止や営業活動停止等による機会損失を避けることができました。一方で、コロナ禍のサプライチェーン混乱や原油高も相まっての原材料調達難や価格高騰が発

## 2022年3月期連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり配当金
2022年3月期 実績	28,577百万円	2,136百万円	2,148百万円	1,479百万円	15円(年間)

生しましたが、全社をあげて対策に取り組み、製品の安定供給に努めました。

### 📌 当期の業績について

## 建築土木・工業関連市場の回復により 売上高・利益ともに過去最高を記録

当社グループ関連業界については、建築土木関連市場における新設住宅着工戸数の回復が続いたことや、工業関連市場でデジタルデバイス製品の需要が引き続き旺盛だったことなどから、堅調に推移しました。

この結果、当期業績は売上高が285億77百万円(前期比10.9%増)、利益面については、営業利益が21億36百万円(同40.4%増)、経常利益が21億48百万円(同41.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は14億79百万円(同39.1%増)となり、2年連続で過去最高益を達成し、売上高も過去最高を記録しました。

企業の持続的成長とは、人に例えると健康であり健康寿命を延ばしていくことです。そのため人にとっては体質を改善し、体力を向上させることが大切です。企業の場合、体質改善は『利益率の向上』であり、体力向上は『売上高の拡大』になります。当社では、ここ数年、利益率は

順調に向上しましたが、売上高は過去最高を記録したとはいえ、新規市場や海外市場には伸ばせる余地がまだ十分にあると判断しています。この成長機会を捉えるため、特に海外市場ではグローバルに対応できる人材の育成や、親会社である株式会社カネカの海外拠点の活用も含めて、中国やASEAN地域を中心にグローバル展開を更に加速し、持続的な成長の原動力にしていきたいと考えています。

### 📌 今後の事業戦略について

## グローバル市場での事業拡大と カーボンニュートラルに重点

当社グループは当期「中期計画2021」として、成長に向けての3つの課題に取り組みました。

そのうちの一つ「グローバル市場での事業拡大」については、工業営業部内に「グローバル推進グループ」を設置し、既存の「自動車グループ」「工業材料グループ」とのコラボレーションにより、海外での新規案件受注などの成果を挙げています。また、「技術開発とマーケティングが牽引するサステナブルな成長」と「事業の収益力強化」

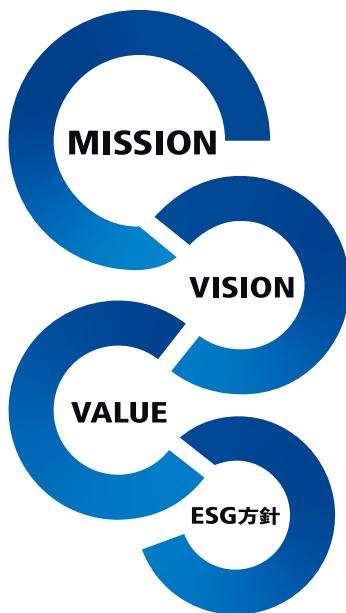
## トップインタビュー

については、2年前に立ち上げた「ポートフォリオ変革プロジェクト」によって行われた付加価値の高い製品や成長市場への経営資源の再配分、生産拠点毎の生産品種最適化、さらにプロセス集約・コスト合理化、業務改善・デジタル化の推進といった施策が奏功し、業績向上に結びつきました。

新しくスタートする「中期計画2022」では、前年度の基本的な枠組みを維持するとともに、改めてCSV (Creating Shared Value) 経営に力を入れ、社会課題の解決に取り組んでいきます。このうち最も大きな課題がカーボンニュートラルですが、当社のビジネスにとっ

ては「ピンチ」と「チャンス」両側面があります。「ピンチ」としては政府の掲げたCO<sub>2</sub>削減目標の達成にはコストアップや投資が伴ってきます。一方の「チャンス」は、当社の“接着技術”がCO<sub>2</sub>削減のソリューション提供につながることで。例えば建築現場においてボルトなどの機械的接合部分を、当社開発の構造用接着シートセメダイン「ATLAS™」と併用することで工数が減り、CO<sub>2</sub>の削減にもつながります。このような新製品の開発や、既存製品の新たな使い方の提案を通じて、今後も積極的にカーボンニュートラルをはじめとする各種社会課題の解決に焦点を当てていきます。また、海外市場では市場開拓

## マネジメントストラクチャー



# つけるが、 価値。

つけることを通じて、新しい価値を生み出し、世の中の課題に答えを出す。

モノとモノ、コトとコト、ヒトとヒトをくっつけて、テクノロジーの進歩や豊かな社会の実現につなげる。

**驚きや感動を  
届けよう。**

不可能を可能にするアイデアと、暮らしに役立つ技術によって、まだ見ぬ驚きや感動を届けたい。

**成長に  
つなげよう。**

創造力と生産性の向上によって、新たなビジネスをつくりあげていく。自分の成長、そして会社の成長につなげる。

**挑戦を  
楽しもう。**

お客様のために、そして世の中のために。決してあきらめず、前向きに、どんなことも面白がってやってみる。

**誠実に  
取りくもう。**

世の中のことをしっかりと考え、環境にやさしく、安全なものづくりを通じて、より良い製品を提供する。

セメダイングループは、社会課題にソリューションを提供する接着剤メーカーとして、持続的な成長により企業価値を高め、より良い未来の創造を目指します。

- ・地球環境との共生
- ・人材育成とダイバーシティの推進
- ・地域や産業の発展への貢献
- ・ガバナンスの強化

のみならず、世界中の企業と協業できるグローバルサプライヤーを目指してまいります。

## ESG(環境・社会・企業統治)に関する取り組みについて 環境配慮型製品の開発・提案と 組織風土の改革を進めていく

2020年10月、当社グループの企業活動の基本となる「マネジメントストラクチャー」を制定しました。『つけるが、価値。』という「ミッション」のもと、「ビジョン」、「バリュー」、「ESG方針」に則って全社、各部、グループ、チーム、個人でそれぞれ目標を設定し追求しています。また、中期計画も「ミッション」、「ビジョン」、「バリュー」の実現に向けて策定され、最終的にサステナブルな成長のできる会社へと変わっていくことを目指しています。

4つの「バリュー」のうち、「驚きや感動を届けよう。」「挑戦を楽しもう。」の具体的な動きとして、ユニークな環境配慮型製品の開発があります。その一例が2021年12月に発売したセメダイン「スーパーX ナチュラ」です。化石燃料由来と比べて環境負荷が少なく、持続可能な生物由来のバイオマス原料を50%以上使用し、「バイオマスマーク」の認定を受けた接着剤です。カーボンニュートラル性を有し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制や環境負荷低減に寄与するバイオマス原料を使用した製品については、今後もラインアップの拡大に取り組んでまいります。さらに、前述の構造用接着シートセメダイン「ATLAS™」など、新たな価値を生み出す製品の開発に高い目標を持って取り組んでいます。

また、「成長につなげよう。」では、グローバル人材の育成に関して、新入社員や外部からの人材だけではなく、先輩社員からも育成・成長を望む声が聞かれるなど、積極的な姿勢が見られます。「誠実に取りくもう。」では、企業倫理研修を継続して実施し、意識を高めています。

さらに当社は「いきいきと働く」、「ワクワクして目標に挑戦する」を合言葉に、組織風土の改革にも取り組んでいます。そのために、各部門からのメンバーで構成された「仕事快適化プロジェクト」を設置しました。各部門から出てくる様々な業務上のアイデアや、解決すべき問題点をプロジェクトで抽出・集約し、部門間をまたがる全社的な課題として解決していきます。これにより部門内の解決による「部分最適」ではなく、プロジェクトで話し合うことで「全体最適」を求めることができます。また、風通しの良い組織、「上意下達」でなく「下意上達」への意識改革など、仕事しやすい、働きがいのある組織風土の実現に、これからも引き続き努めてまいります。



当社は、2022年8月1日をもって株式会社カネカの完全子会社となります。これまでご支援頂きました株主の皆さま、誠にありがとうございました。今後とも、皆さまのご期待に沿えるよう企業価値の更なる向上に努めてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# NEWS & TOPICS

採用物件

## 「TOKYO TORCH」D棟

東京駅日本橋口前に位置する常盤橋街区では、「TOKYO TORCH」という再開発プロジェクトが進められております。「TOKYO TORCH」では日本一の高さ390mの超高層ビル(Torch Tower)を含む4つの建物が建設されており、その中の1つ、D棟新築工事(施主:三菱地所、設計:三菱地所設計、施工:三井住友建設)に2成分形シリル化アクリレート系シーリング材セメダイン「EXCEL II」が採用されました。

セメダイン「EXCEL II」は、耐久性の高いシリコン系シーリング材に匹敵する性能を有し、ガラスはもとより躯体廻りの各種被着体にも対応が可能となるとともに、建物の長寿命化が期待できる製品です。

さらに、セメダイン「EXCEL II」は、目地周辺の撥水汚染がなく、美観維持にも優れたシーリング材であると同時に、一製品で外装の防水性、気密性等に対応したシールとして使用できるよう設計されています。

今後、「Torch Tower」へも採用されるよう引き続き営業活動を行ってまいります。



NEW

新製品

## 「手絞り&省ゴミ」需要に応えるプロ仕様 セメダイン「PM165RX neoパック600mL」

建築現場からご家庭まで広くご使用いただいておりますセメダイン「PM165R」シリーズの追加ラインアップとして、セメダイン「PM165RX neoパック 600mL」を2021年10月に発売しました。

この製品は、高い耐久性が特長のセメダイン「PM165R」シリーズの大容量手絞りタイプです。建築業界で高まる「手絞り&省ゴミ」需要に応えたneoパック容器を採用し、カートリッジガンのいらぬ作業性の良さに加え、既存のセメダイン「PM165RX 333mL(カートリッジ品)」と比

べ、ゴミの体積を約1/10に削減できます。キャップ付きで、開封後に漏れないよう一時的に保存することも可能です。

コンクリートをはじめとした多様な素材への高い接着性・耐久性のみならず、手絞りしやすく垂れにくい適度な粘度のおかげで、屋内外の様々な接着シーンでの快適な作業に貢献します。



構造用接着シート  
セメダイン「ATLAS™」の開発

建設現場における職人不足や、溶接を伴う改修工事において発生する火花による火災防止対策など、昨今の諸問題に対する解決策として、当社はこのたび構造用接着シートセメダイン「ATLAS™」を開発しました。

建築の梁や鉄骨柱などの取り合い部分に、あらかじめセメダイン「ATLAS™」を挟み込むことで、鋼材と鋼材を簡単に貼り合わせることができ、ボルト・ビスとハイブリッド化することで接合部にかかるひずみや圧力を均一に分散し、接合系全体の構造耐力の向上を図るとともに、耐疲労特性などの長期耐久性への寄与が期待できます。

セメダイン「ATLAS™」は、構造用接着剤を特殊樹脂シートに含浸させ、2成分の接着剤を一つのパックの中に収納することで、接着剤の計量が不要で、パックのまま混合することができるので手が汚れることもなく、また透明フィルムの上から接着剤の混合状態を簡単に確認できるため、混合不良等の心配もありません。さらに、特殊樹脂シートに柔軟で復元性の高い特殊スポンジを採用することで、複雑な形状の金物や建材の凹凸にも適応が可能です。

セメダイン「ATLAS™」は、清水建設株式会社（以下「清水建設」）と共同で工法開発を行ってきたもので、2021年6月当社開発センターの天井改修工事にて施工実験を行い、続けて同年9月に清水建設技術研究所本館の天井改修工事の一部にも施工されました。その検証の結果、従来工法と比較して、作業に必要な人工数を約50%削減する効果が確認できました。鋼材と鋼材をセメダイン「ATLAS™」の標準設定寸法10cm×5cmで貼り合わせた場合、接合面にかかる引張、せん断方向どちらに対しても5tという大きな耐力を得ることができました。

セメダイン「ATLAS™」は、天井改修工事はもちろん、改修耐震補強工事におけるブレース取付鋼材枠の設置など、溶接を伴う改修工事にて発生する火花による火災防止対策も不要となり、事業活動を止めることなくより効率的な工事を可能にするものと考えております。さらに、複雑な形状の金物取付、新築大型設備固定などお客様のニーズに合わせて種々の場面で幅広い活用が期待されます。

当社は、今後も積極的に社会課題と向き合い、新たな提案を行いより良い社会の実現につなげていきたいと考えています。



◀ ATLAS™混合前



ATLAS™混合後 ▶



セメダイン開発センターにおける天井改修工事の施工実験

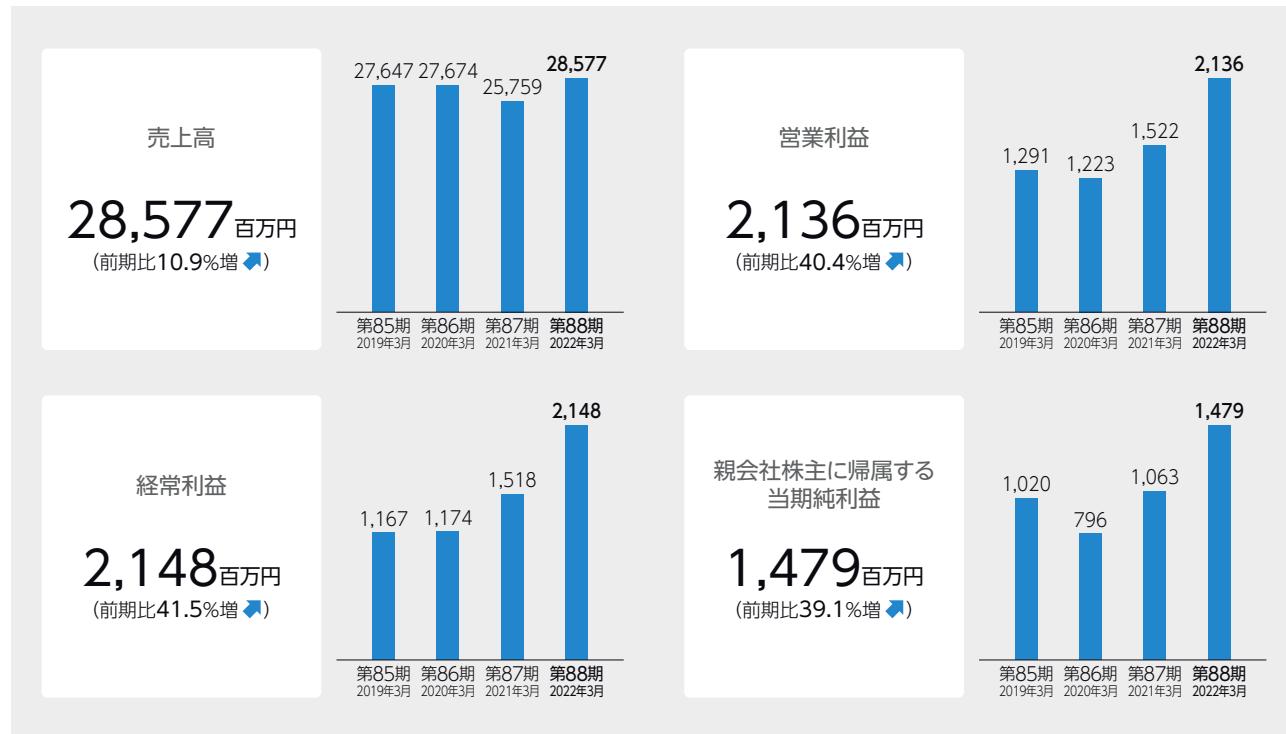


鉄骨梁

# 決算ハイライト

## ■ 連結財務ハイライト

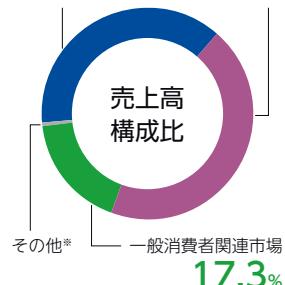
(単位:百万円)



## ■ セグメント情報

工業関連市場 建築土木関連市場

37.7% 44.3%



\*不動産賃貸収入132百万円(前期比0.2%減)

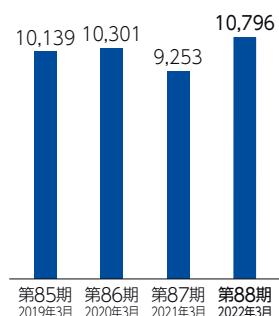
### 建築土木関連市場売上高

(単位:百万円)



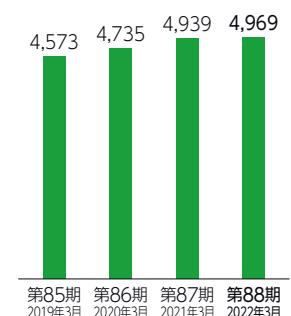
### 工業関連市場売上高

(単位:百万円)



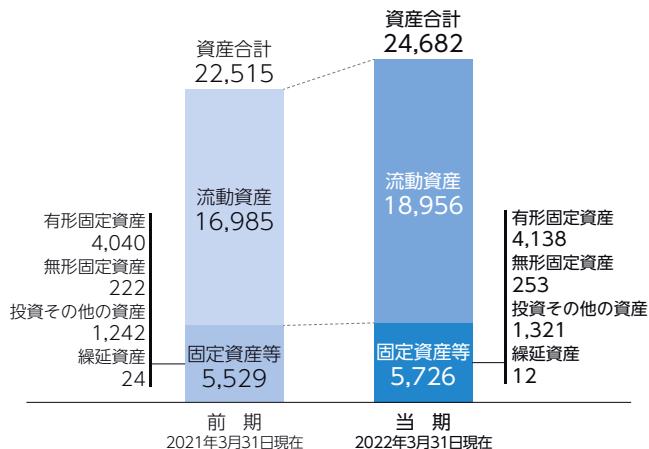
### 一般消費者関連市場売上高

(単位:百万円)



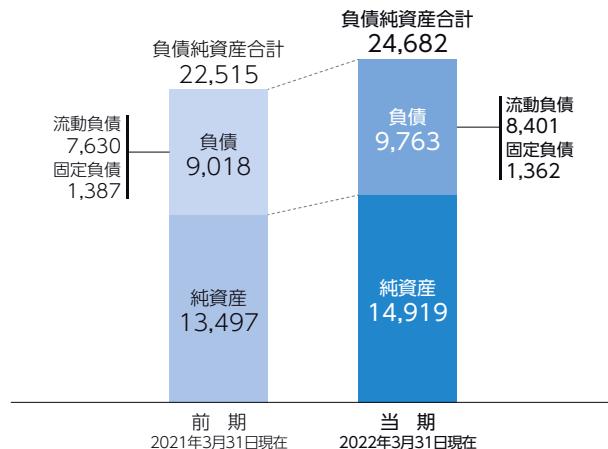
## ■資産の状況

(単位:百万円)



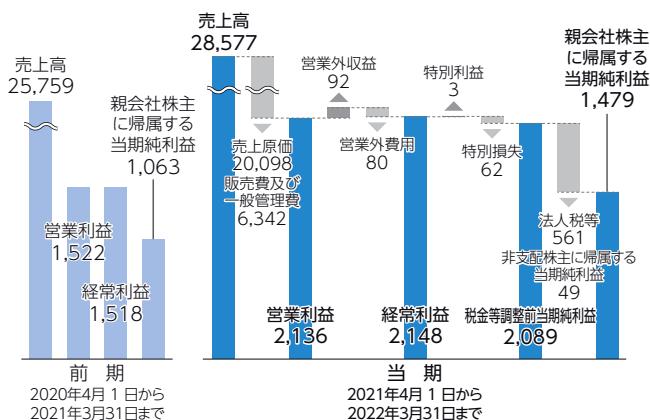
## ■負債純資産の状況

(単位:百万円)



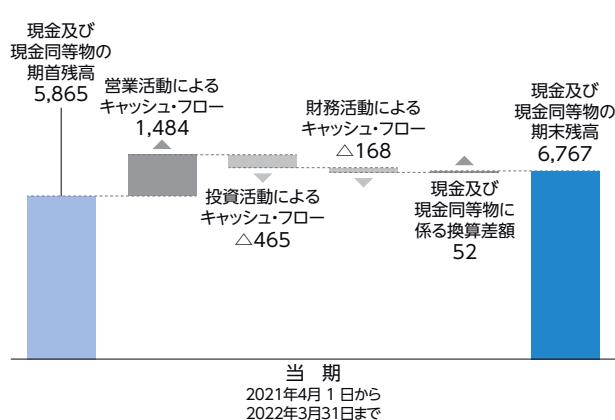
## ■連結損益計算書

(単位:百万円)



## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



POINT  
1

### 売上高

一般消費者関連市場は前年の楽観もり需要の反動による影響で微増でしたが、新設住宅着工戸数の回復に伴い建築土木関連市場で売上が増加したほか、ノートパソコンやタブレットなどのデジタルデバイス製品の旺盛な需要により工業関連市場の売上也好調であったことから、売上高は28,577百万円(前期比10.9%増)となりました。

POINT  
2

### 営業利益

継続的なコスト改善により競争力の強化を図るとともに、歴史的な原材料価格の高騰への対応として製商品の価格改定に取り組んだ結果、営業利益は2,136百万円(前期比40.4%増)となりました。

## 株主様 ひろば

株主の皆様には、平素よりセメダインをご支援いただき、誠にありがとうございます。当社は、日頃のご支援に対する感謝の印として、また当社製品へのご理解を深めていただくため、当社製品を中心とした優待商品をお贈りする株主優待を実施しております。皆様には優待の申込と同時にアンケートにもご協力いただいておりますが、昨年戴きましたご意見・ご感想の一部とともに、関連する情報を紹介させていただきます。

### ご意見・ご感想

小学校の時から接着剤のお世話になっています  
(模型ヒコーキづくり)。



小中学生の「ものづくりが楽しい、得意である、できてうれしい、自慢できる」を満たす商品や発表の場を期待します。



このような、当社製品に子供の頃から慣れ親しんだ、慣れ親しんでほしいというご意見・ご感想をよく戴きます。

### 関連情報

当社の活動のうち、当社または当社製品が子供たちに伝わるのに役立つ、と思われるものを紹介させていただきます。

#### 高専ロボコン・小学生ロボコンへの協賛

1988年に始まり「既存概念にとらわれず、自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの大切さや素晴らしさを広めてきた、『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)』への協賛を通じ、ものづくりに熱い想いを懸ける若きエンジニア達を応援しています。また、教育現場においてロボットやAIへの注目が高まる中、小学生向けに2019年より始まった「小学生ロボコン」もサポートしています。子供達がものづくりに触れ、発想することの面白さとカタチにする楽しさを体験する機会を提供し、技術面だけでなく、豊かな心の成長にもプラスになるよう願っています。

#### ベルマーク運動への協賛

ベルマーク運動は1960年に始まり、対象商品についているベルマークを集めることで、その点数に応じて、学校の設備や教材を購入することができ、さらに遠隔地学校や特別支援学校、災害被災校、開発途上国の子供達へ援助の手を差し伸べることが出来ます。当社もこのベルマーク運動に賛同して1979年より協賛しており、当社様々な対象商品にはベルマークがついています。

#### 各工場から地元の小学生への木工用接着剤贈呈

茨城、三重および衣浦の各工場では、地元の小学校に入学する1年生に木工用接着剤を贈呈しています。

#### 静岡ホビーショーへの出展

プラモデル、ラジコンカー、鉄道模型の国内有名メーカーが一堂に会し、注目の新製品を発表。世界中のバイヤーが集まるホビーのビッグイベント「静岡ホビーショー」に出展しています。会期中には小・中・高校生招待日も設けられています。

引き続きアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

# 第88回定時株主総会決議ご通知

第88回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

## 記

- 報告事項**
1. 第88期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第88期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記1.および2.の内容を報告いたしました。

## 決議事項

**第1号議案** 当社と株式会社カネカとの株式交換契約承認の件

本件は、原案のとおり承認可決され、2022年8月1日をもって、当社株式1株につきカネカ株式0.282株が交付され、当社はカネカの完全子会社となることとなりました。

**第2号議案** 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末の株主配当につきましては1株につき10円と決定いたしました。なお、中間配当金として5円をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株当たり15円となります。

**第3号議案** 取締役8名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、松本有祐、天知秀介、大津功、秋本雅人、飯田秋彦、塩田裕啓、及川隆夫、小町千治の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

**第4号議案** 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、渡辺政宏氏が選任され、就任いたしました。

以 上

なお、本総会終了後に開催された取締役会において、代表取締役会長に松本有祐、代表取締役社長に天知秀介の各氏が選定され、それぞれ就任いたしました。

# 株式交換についてのご案内

株主の皆さまへ

## 株式交換に伴う株式事務のご案内

当社は、本日2022年6月15日(水)開催の第88回定時株主総会において、2022年8月1日(月)を効力発生日とする当社と株式会社カネカ(以下、「カネカ」といいます。)の株式交換契約が承認され、当社がカネカの完全子会社となる株式交換を行うこととなりました。

つきましては、株式交換の効力発生日の前日2022年7月31日(日)最終の当社株主名簿に記載または記録された株主様に対し、ご所有の当社普通株式1株につきカネカ普通株式0.282株の割合をもって割当交付いたします。

株主の皆さまにおかれましては、株式の割当てに際して一切のお手続きは必要ございませんが、株式交換の効力発生日前後の株式のお取り扱いにつきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

### 記

#### 1. 株式の流通について

当社株式の流通につきましては、次のとおりとなりますので売買等にご留意ください。

年月日	日程	株式の流通
2022年7月27日(水)	当社株式の最終売買日	この日までは、当社株式の証券取引所での売買は従来どおりできます。
2022年7月28日(木)	当社株式の上場廃止日	この日以降、当社株式の証券取引所での売買はできません。
2022年8月1日(月)	株式交換の効力発生日	この日以降、株主様がご所有されている当社株式は、カネカ株式会社として売買が可能となります。

## 2. カネカ株式の割当ての時期および方法

2022年7月31日(日)最終の当社株主名簿に記載または記録された株主様に対し、ご所有の**当社普通株式1株につきカネカ普通株式0.282株の割合をもって割当交付いたします**。割当交付された株式は2022年8月1日(月)付でお取引の証券会社等の口座に自動的に記録され、同日以降、売却が可能となります。

なお、**本株式交換の実施にあたって、株主様に特段のお手続きをしていただく必要はございません**。

また、「株式交換による新株式割当に関するご通知」を、2022年8月下旬にお届けのご住所あてにご送付申し上げる予定です。

### [ご参考]

現在のご所有の当社株式に、カネカ株式がどのように割当てられるかについては、次の例をご参照ください。

#### <例1> 当社株式1,000株ご所有の場合

$$\underline{1,000株 \times 0.282 = 282株}$$

割当計算の結果、282株がカネカの株主名簿に記載または記録されます。

カネカの単元株式数は100株となっていますので、単元株式200株と単元未満株式が82株となります。

#### <例2> 当社株式100株ご所有の場合

$$\underline{100株 \times 0.282 = 28.2株}$$

この場合は、整数部分の28株がカネカの株主名簿に記載または記録されます。端数部分の0.2株につきましては、1株に満たない端数として取りまとめたうえで一括処分し、その端数に応じて処分代金をお支払いいたします。

カネカの単元株式数は100株となっていますので、単元未満株式が28株となります。

### 3. 単元未満株式の「買増し」または「買取り」について

本株式交換に伴い、カネカの単元未満株式(100株未満)を保有することとなる株主の皆さまについては、2022年8月1日(月)以降、カネカ株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。

#### ①単元未満株式の買増制度(1単元(100株)への買増し)

ご所有のカネカの単元未満株式に、単元に不足する株数を買増しして1単元となるように、カネカに対して株式を売り渡すことを請求することができます。例えばカネカ株式を28株ご所有の場合、72株を買増ししていただき、100株にすることが可能です。ご希望の方は効力発生日以降、カネカ株式を記録している証券会社等に対しお手続きください。

#### ②単元未満株式の買取制度(1単元(100株)未満株式の売却)

ご所有のカネカの単元未満株式について、カネカに対して買い取ることを請求することができます。ご希望の方は効力発生日以降、カネカ株式を記録している証券会社等に対しお手続きください。

### 4. 端数株式処分代金のお取扱いについて

カネカ普通株式の割当ての結果、1株未満の端数が生じた場合は、一括して取りまとめたうえで法定の手続により処分し、その処分代金を端数に応じて現金にて精算させていただきます。

お支払時期等につきましては、2022年8月下旬に発送予定の「株式交換による新株式割当に関するご通知」にてご案内させていただく予定です。

### 5. 本件お問い合わせ先

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
本件に関する郵送先 及びお問い合わせ先	郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先: 電話 0120-232-711 (通話料無料)

以上

# 会社概要・株式情報 (2022年3月31日現在)

## 会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
設立	1948年4月22日 (創業1923年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	345名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・ コーティング剤及びその加工品の製造販売 接着及び防水等に関する施工及び請負
主要取引銀行	三菱UFJ銀行／りそな銀行／三菱UFJ信託銀行

## 取締役及び監査役

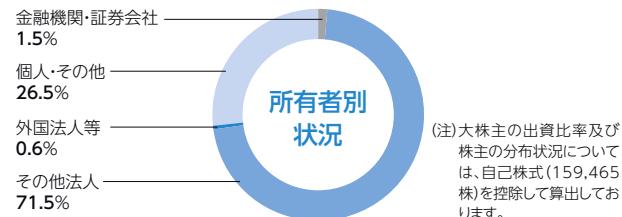
代表取締役会長	松本 有 祐
代表取締役社長	天 知 秀 介
取 締 役	大 津 功 営業本部長
取 締 役	秋 本 雅 人 技術部長
取 締 役	飯 田 秋 彦 管理部長
取 締 役	塩 田 裕 啓 SCM部長兼生産部長
社 外 取 締 役	及 川 隆 夫
社 外 取 締 役	小 町 千 治
監 査 役 (常勤)	堀 江 康 信
社 外 監 査 役	細 野 幸 男
社 外 監 査 役	渡 辺 政 宏
社 外 監 査 役	水 川 聡

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株 主 数	3,823名

## 大株主 (出資比率1%以上)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社カネカ	8,218,700	54.8
セメダイン共栄会	1,406,000	9.4
日本ウイリング株式会社	510,000	3.4
株式会社LIXIL	300,000	2.0
アジアケンディジャパン株式会社	205,000	1.4
三木産業株式会社	200,000	1.3
セメダイン従業員持株会	168,340	1.1



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日・9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード)
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL ( <a href="https://www.cemedine.co.jp/">https://www.cemedine.co.jp/</a> ) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

## (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

キーワード  
で知る  
セメダイン

KEYWORD»

# バイオマス

## バイオマスマーク認定商品 セメダイン「スーパーXナチュラ」を新発売



近年、持続可能な社会の実現に向けた開発機運は急速に高まっており、産業界においても脱炭素社会の実現に向けた取り組みが求められています。当社の基幹製品の一つであるセメダイン「スーパーX」は、ものづくりの現場において製造時の自動化や軽量化など、省人化・省力化といった環境負荷の少ない接合プロセス・接合方法を提供し、カーボンニュートラルにも貢献しております。

一方、接着剤自体は、その大部分が石油由来原料で構成されており、その環境負荷の低減への取り組みは急務となります。当社は、化学で社会に貢献する企業の一員としてその課題に対する使命感を持ち、環境負荷ゼロへの取り組みのひとつとしてセメダイン「スーパーX」について、生物由来(バイオマス)原料に置き換える研究開発を進めてまいりました。

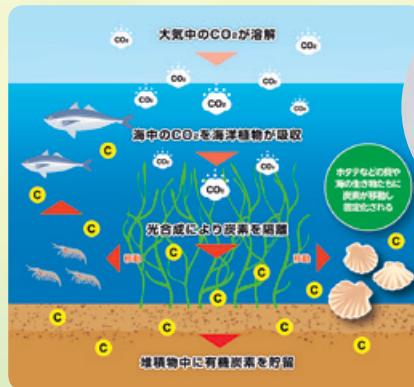
このような有機資源を原料として用いることで、化石資源使用量の削減による環境負荷の低減や、最終的に燃やしても、発生する二酸化炭素は大気中に戻るだけで地球温暖化の原因となる二酸化炭素は増加せず、カーボンニュートラルに貢献できます。

そして、上記の研究開発の結果、2021年にはホタテの貝殻を原料とするセメダイン「スーパーXナチュラ」が誕生しました。このホタテ貝の活用は、近年注目されているブルーカーボン※の活用推進にもつながると考えています。

セメダイン「スーパーXナチュラ」は、構成要素の約50%をバイオマス原料にすることで、一般社団法人日本有機資源協会のバイオマスマークの認定を取得した環境配慮型接着剤です。

このような接着剤がこれからのものづくりの現場で広く活躍することを願うと共に、我々はさらなる環境負荷低減製品の開発に挑戦し、カーボンニュートラルへの対応を一層強化してまいります。

※ブルーカーボン：藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素の総称。



**セメダイン株式会社**

本社：〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー Tel：03-6421-7411



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。